

令和5年2月吉日

関係者各位

むぎのめ子ども発達支援センターりんく

園長 岩松 まきえ

## 「児童発達支援自己評価」(保護者向け)の結果について(報告)

向春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当事業所に通園している保護者の皆さまのご協力のもと、保護者による自己評価を過日実施いたしました。

その中のほとんどの項目で、概ね高い評価をいただき、『「明日もりんく?」「先生に会いたい」と言い楽しみにしている』・「子どもたちに全力で対応していただいております、非の打ちどころがありません」「満足しています」等の声を寄せていただきました。

周知の必要性や課題となるご意見として、『9:保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会(以下⑨の項目)』の項目について、「わからない」「どちらともいえない」「いいえ」の回答が多く寄せられました。

⑨の項目についてですが、当園は、認可保育園である「むぎっこ保育園」が隣接しており、日常的な園庭の共有のほか、年1回の子ども劇場による観劇会や合同避難訓練を保育園児と母子分離グループ合同で行っています。今後も、更に日常の中で交流を持てる機会をつくっていきけるように努めていきたいと思っております。

また、『19:個人情報の取扱いに十分注意されているか』の項目において「いいえ」の回答がありました。ご意見の欄には記載がなく、具体的にどのような事があたるのかがわからないことが、大変心苦しいですが、個人情報の取扱いについて事業所内で再度確認を行うこと、そしてりんくがどのように管理をしているかの周知に努めてまいります。

今回はお忙しい中、自己評価へのご協力ありがとうございました。今後もこれまでと同様、よりよい実践と事業所運営に取り組んでいきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見とご協力をよろしくお願いいたします。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表) 【児童発達支援】

公表: 令和5年 2月 24日

事業所名:

保護者等数(児童数) 22家庭 回収数 20 割合 90 %

	チェック項目	はい			いいえ		ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	0	0	0	十分に確保されている。	基準以上の空間を確保しています。今後も子どもたちが安心して思う存分活動できる空間を確保していきたいと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2	0	1	専門性は適切であると思う。	児童発達支援センターの基準以上の職員配置は行われています。今後も専門性を高め、子どもの発達支援に従事していきます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	0	0	0		子どもの生活の導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	1	0	0	・共同スペースに埃が溜まっていたり、夏場に虫の死骸が何日も放置されていたことがあった。 ・エアコンのフィルター汚れが気になります。	日常的、定期的に清掃を行っています。お気づきの点がありましたら、すぐに職員までお知らせください。今後も衛生管理に努めていきたいと思っています。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22	0	0	0	・きちんと面談もあり、わかりやすいです。 ・個々に合わせてしっかりとした支援目標を立てている。	支援計画については、面談や保護者からの聞き取り等で得られたニーズや課題、子どもの状態を把握した上で、発達段階や発達要求等、客観的分析した上で支援計画を作成しています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	1		今後も、子どもの支援に必要な項目を記載し、できるだけわかりやすく具体的な支援内容を心がけています。今後も児童発達支援管理責任者を中心に、ひとり一人の子どもの実態に即し、具体的にわかりやすい個別支援計画づくりに努めます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	0	0	0		今後も児童発達支援管理責任者を中心に、計画に沿った支援がなされているか、確認や検討しながら取り組みます。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	0	柔軟に組み合わせ工夫されている。	今後も子どもの発達や実態、季節や年齢に即したプログラムの検討をしながら実践を展開していきます。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	6	0	6	・保育園はむぎっこ保育園で交流していると思うが、他はわからない。	認可保育園が同一敷地内に隣接しており、園庭あそびを一緒にしたり、合同で行事(人形劇)をしたり、避難訓練を合同で行っています。また、日常的に子どもたちが行き来し、小さな交流が生まれています。	
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0	0	・資料を読んでいます。	入園児に説明をしています。また園内に掲示もしております。今後もわかりやすい説明を心がけ、気軽に質問もできるように努めます。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22	0	0	0		今後も活動のねらいや意図も含め、わかりやすく説明できるよう努めます。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	21	1	0	0	・学習会が少なく感じます。 ・学習交流会に参加してとてもためになったと思う。 ・学習会が少ないので、すべての保護者に受けられるようにしてほしい(入園して日の浅い保護者の方など)。	個別面談や生活記録表でのやりとりなど、日常生活の中での気づきから子どもへの関わりや発達を保護者と共有することを大事にしています。学習会については保護者からの要望を踏まえた上で、内容を検討したいと思います。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	0	0	0	・共通理解できている。 ・お迎えの時に聞いています。	今後も細かな変化にも気づけるよう、家庭生活の様子を把握し、また療育での様子も具体的にわかりやく伝えることを心掛け、共通認識できるように努めています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1	0	0	面談などあらかじめ日程を組むというより前日や急に言われる事が多い気がする。	学期に1回の頻度で面談を行っています。また、毎日の生活記録表で育児への不安に対し助言や支援をしています。今後も丁寧に取り組んでいきたいと思っています。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	1	0	0	コロナ禍で難しいかと思いますが、父親の参加する活動や会が増えてくれるとうれしいです。	親の会と連携しながら楽しく交流したり、共に学び合う場をつくっています。法人の家族会や県父母の会などへ参加できるように保育を行うなど協力しています。	
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1	0	0		登降園時や、電話、来所、連絡帳など、タイムリーに相談につながるように努めています。今後も迅速かつ丁寧に対応できるよう努めます。		

チェック項目		はい	どちらとも いい いい	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1	0	0	・職員の方と話しやすい、相談しやすい環境である。 ・アンケートなどでされていると思います。	今後もよりよい関係づくり、情報伝達のための配慮に努めていきます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	1	0	1		大きな行事は学期初めにお知らせし、毎月のおたよりに翌月～翌々月の行事予定も記載し発行しています。自己評価の結果も公表しています。今後も、わかりやすく読みやすいお便りの作成や、必要な情報を早めに開示していただく心がけていきます。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	21	0	1	0		個人情報の取り扱いについて再度職員間で確認し、取り扱いについては十分注意していきます。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせください。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21	0	0	1	・緊急対応、防犯マニュアルはまだありません。	各マニュアルを作成し、各部屋へ掲示しています。全保護者へ周知できるように努めます。今年は防犯訓練を保育園と合同で行いました。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	0	0	0		法令に従って訓練を実施しています。訓練は毎月子どもと職員で行っております。また、親子グループは、子どもが不安にならないように配慮した上で実施しています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	20	2	0	0	・「明日もりんく？」「先生に会いたい」と言い、楽しみにしている。 ・たまに行き渋り有。・とても楽しみにしている。	これからも子どもたちにとって、安心して自分を出し、楽しくあそびながら成長発達を促せる場となるよう努めていきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	22	0	0	0	・満足しています。 ・子どもたちに全力で対応していただいております、非の打ちどころがありません。	今後もりんくの取り組みについて、丁寧に伝えていくとともに、よりよい「発達支援」「家族支援」「地域支援」を目指していきます。今後もりんくに対する意見や要望を出していただければ幸いです。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和5年2月吉日

関係者各位

むぎのめ子ども発達支援センターりんく

園長 岩松 まきえ

## 「児童発達支援自己評価」(事業所向け)の結果について(報告)

向春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、当事業所における「児童発達支援自己評価(事業所向け)について自己評価を過日実施いたしました。自己評価の項目一つ一つを確認し、職員全員で意見交換を行いました。大切にしていきたいこと、工夫できることなど忌憚なく話し合う中で、りんくの取り組みの共通確認と役割を考える機会となりました。

事業所における自己評価におきましては、『47:どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している』の項目において、本事業所としては身体拘束を行うことが現状としてありませんので回答としては「いいえ」となります。しかし、今後やむを得ず身体拘束が必要となった場合は、検討を行った上で児童発達支援計画に記載し、保護者の了解を得て支援を行っていきます。また、どのようなことが身体拘束にあたるのかは、毎年実施している職員研修(虐待や権利擁護研修)の中に取り入れ、職員一人一人の理解の向上に努めています。

これまで通り、ひとりひとりの子どもの発達課題、発達段階に応じた生活とあそびの支援・集団作りについて、研修や実践検討などの学習を重ね、子どもたちひとりにひとりが力を発揮し、主体的に生活やあそびに向かうことができるような療育の中身づくりを目指していきたいと考えています。

今後も様々な意見を聞く中で、職員・保護者(家族)共に理解を深め、子どもたちのよりより成長発達を願い、一歩ずつ取り組みをすすめながら事業所づくりをしていきたいと考えておりますので、これからも多くの方のご協力をお願いいたします。

# 事業所における自己評価結果(公表) 【児童発達支援】

公表: 令和5年2月24日

事業所名: むぎのめ子ども発達支援センターりんく

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		クラスの部屋の広さは、各クラスの人数に対する広さを基準以上に確保しています。活動内容に応じてプレイルームやプレイデッキ、園庭等を活用しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		職員数においては、配置基準に従った職員数を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		各クラス、子どもの生活導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。室内はバリアフリー(段差無し・手すり)です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		療育終了後、療育室やトイレ、机・椅子、玩具等、療育終了後に毎日清掃・アルコール消毒を行っています。また、感染症対策として、オゾン発生器を各部屋に設置し、こまめな換気も行っていきます。季節の流行感染症の対策として、トイレ使用後の消毒を職員だけでなく保護者へも周知するよう努めています。	朝の準備段階での衛生確認を行っていきけるようにしていきたいと思えます。また、雨天時に雨がテラスに吹き込むため、ロールメントの開閉をこまめに行うようにしていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		全職員で課題を共有し、業務改善に向けての検討や情報共有に努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ガイドラインアンケートや意見箱、親の会との運営委員会での要望・意見、個別面談等での要望・意見をもとに、業務改善策に努めています。	今回、いただいた自己評価に基づき、個人情報取り扱いについては、職員間での再確認を行い、今後も取扱いには十分に注意したいと思えます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、保護者向けの評価表の意見や運営委員会等の意見も踏まえ、業務改善に向けた話し合いを行っています。また、評価結果を法人のホームページに公表しています。今後も自己評価の取り組みは丁寧に取り組んでいきます。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		法人で定期的に行い、必要に応じて改善につなげています。また、市の実地指導や県の行政指導監査を受け、指摘事項等があった際は、改善に努めています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所内研修や法人研修、外部研修へ参加できるように、年間計画を立てて取り組んでいます。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者や相談支援専門員からの聞き取りや、発達評価等をもとに、アセスメントを行い、分析・検討の上、支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		KIDS、新版K式発達検査2001等、標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画策定会議を実施し、職員間で意見を出し合いながら、一人ひとりの子どもの姿に即した支援を検討しています。支援計画の中に発達支援、家族支援、地域支援の項目を設定し、具体的な支援内容を計画し、できるだけわかりやすい目標・内容の作成に努めています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿って共通理解のもと支援を行っています。定期的にモニタリングを行い、支援計画に沿った支援が行われたか、振り返りを行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間、月、週、当日、行事など、担当職員を中心に、チームで療育内容や支援の在り方について検討しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年間計画や毎月の活動計画において療育内容を検討しており、季節や生活文化、子どもの実態に応じた療育内容の工夫を行っています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		基本的には集団活動をベースとした支援を行っていますが、集団療育の中に個々の課題に応じた支援(個別の活動)を取り入れており、支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		指導案をもとに、当日の支援開始前に実践に入る職員間で事前に打ち合わせを行っています。大きな方向性については、前日までに共通理解をしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後に、各クラスごとにミーティングを行い、振り返りを行っています。参加できない職員については、申し送りを行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の療育での様子について、毎日記録に残しています。子どもの実態、変化、具体的な支援、今後の課題につながる内容を記録するように心がけています。	
20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援計画に沿って、保護者と現状を確認し合い、支援の方向性を検討し、必要に応じて見直しを行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に児童発達支援管理責任者、主任が出席していますが、ケースによっては担当職員も出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域のネットワーク会議に参加したり、地域の事業所を対象とした連携会議を開催している。ケースに応じて、個別の連携も図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		該当見なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		該当見なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併行通園の入園前の体験活動や、連携会議、日常の電話等での実態把握を通して、情報共有、相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		北ネット会議等、各学校との連携会議へ参加し、情報提供、支援の方向性についての相互理解を図っています。また、事前の体験活動や卒園後も必要に応じて訪問、連携会議を実施しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や、公開療育などへ積極的に参加し、連携及び学びを深めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		認可保育園が隣接しており、日常的に園庭の共有してのあそびや合同の行事開催など、日常的に関わる機会があります。	保育園との日常的な交流など取り組みについてわかりやすく伝えていきたいと思えます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		会議の知らせがあれば参加できるように努めています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳や活動後の引き継ぎの際に、療育の様子や支援の内容について伝えていきます。保護者との連携のもと家庭の様子や子どもの変化をタイムリーに把握し、支援につながるよう努めています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		日常的な相談のやりとりや親子療育活動、相談時に具体的な関わり方を通して保護者との共通理解を図っています。他にも、親の会活動、法人家族会活動もあり、よりいっしょがあります。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		体験時や契約時に、療育で大切にしていることや活動内容、利用料等についてわかりやすく説明できるよう努めています。また、不明な点があった際にはその都度、確認・返答をするようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者と支援内容、支援計画についての説明し、共有を行う時間を設定し、保護者からの同意を得た上で支援を行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談以外にも、電話や来所による相談など随時対応できるように、タイムリーに解決できるように努めています。また、月2回保健師による個別相談の時間を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会と連携しながら、楽しく交流したり、共に学び合う場をつくっています。法人の家族会や県の父母の会への参加もその時間子どもの保育するなど協力しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れは迅速に対応できるように体制をつくっています。苦情相談窓口や体制については、契約時に説明を行い、事業所内に掲示しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、りんくのお便り発行しています。わかりやすい内容づくりに努め、月ごとの活動内容や行事予定、コロナウイルス感染症の問い合わせ等の緊急連絡先などその都度、お知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		関係機関との情報交換など個人情報の取扱いについて、契約時に説明を行っています。個人情報について具体的な場面でどのように対応するかを職員間で共有を徹底できるよう努めています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		それぞれのお子さんの実態から必要な支援(具体物など視覚的な支援も含め)を行い、専門職のアドバイスも受けながら手立てを工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりましたが、法人で行う行事(フェスタなど)には、地域住民の方に参加いただいています。また、学生ボランティアや実習生等の受入れも行っていきます。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有しています。また、いつでも手に取って読めるように掲示しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。また、年1回消防署立ち合いのもと隣接の保育園との合同避難訓練を実施しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に服薬状況や病歴など書面で確認しています。療育中に服薬が必要な際は、保護者と飲ませ方や注意点を確認し服薬を行っています。予防接種は年2回の園内健診で確認し、てんかんや発作のあるお子さんは必要に応じて医療と連携し緊急時の対応ができるようにしています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に食物アレルギーの確認を行っています。アレルギーのあるお子さんの場合は、医師の診断に基づき、保護者と栄養士と話し合い対応しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝の打ち合わせ時や毎月の職員会議、療育後のミーティングの中で、ヒヤリハット事例について話し合っています。ヒヤリハット事例が発生した際は、報告書を作成し、全職員で閲覧しいつでも確認できるようファイリングしています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関する外部研修へ毎年参加し、内部研修で学びあう機会を設けています。人権についての研修も定期的に行っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束を行うことはこれまで前例がありませんが、どのような場合に身体拘束が必要になるのかなど職員間で学習等を通して理解を深めています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)